

平石の自然豊かな環境で 丈夫な体と豊かな心を育てる保育を共に！！



社会福祉法人 わたり福祉会
さくらみなみ保育園

栽培とクッキング&地域交流

<取り組んだこと>

- ▶ 年間を通して保育園の畑でたくさんの野菜を育てました。幼児クラスは園の畑で大根を育てました。子どもたちと一緒に収穫をし、子どもたちの目の届くところに大根を干し、大根から水分が抜けていく様子を観察したりしました。その後、大根を果物の皮や米ぬか、塩でつけてたくあんにしたり、たくあんおにぎりにし美味しく頂きました。

<保護者さんの声>

- ▶ 大根を干してしわしわになる様子を見ることが出来たり、においが嫌いと言っていたたくあんを自分たちで作ったことで食べられるようになったことがすごいと感じました。

<子どもたちの変化>

- ▶ 自分たちで育てた大根を自分たちだけでなく、他のクラスの子どもたちや職員にも食べてほしいと思いが育ち、「おいしかったよ」の言葉が自信や達成感に繋がり、意欲に繋がっていました。
- ▶ 実際に小学校を見ることで見通しが持て、小学校への楽しみな気持ちを持ち膨らませることができました。



伝統文化を大切にする保育

- ▶ “荒馬”（年長児）“竹おどり”（年中児）“カンチヨロリン”（全園児：盆踊り）“和太鼓”（職員）など東北地方に伝わる民舞を保育に取り入れました。各行事で民舞を披露したり、今年度は保護者の方も交えながら、太鼓の研修をしプロによる太鼓を学び夏祭りで披露し、夏まつりを盛り上げました。

<保護者の声>

- ▶ 先生たちの太鼓がかっこよかったので、一緒に太鼓を学び、披露することができ、楽しかった。また、やりきった達成感があり、太鼓部になってよかった。たくさんの保護者にこの楽しさを伝えたい。

<子どもたちの変化>

- ▶ 自分が小さいころから憧れていた荒馬踊りを仲間とともに、こんな風に踊りたいと色々なステップに挑戦してきた子どもたちでした。次は高齢者施設のおじいちゃんとおばあちゃんたちに見せに行き喜んでもらい、子どもたち自身の主体性や達成感などにも繋がった取り組みでした。



造形美術で表現する楽しさを

<取り組んだこと>

- ▶ 収穫した野菜や稲など身近なものを観察して、描いたり作ったりし表現してきました。乳児は、散歩先で拾ってきた木の实や葉っぱなどをウォールアートしたりし、自分で思い思いに表現を楽しんでいました。

<保護者の声>

- ▶ 0歳から5歳児クラスまでの絵や制作した作品が園内に飾られて、自分の子以外の作品を見ることができ、こんな風になっていくのが分かりました。一人ひとりの作品を大事にしてもらっているのが伝わります。

<子どもたちの変化>

- ▶ 様々な素材に触れる中で、表現することの楽しさを知ることができました。保育室に自分の作品が飾られているのを親子で会話をしながら見る姿が多くなりました。



保育の見える化 ～ドキュメンテーションの取り組み～

<取り組んだこと>

- ▶ 子どものステキだなと思った場面を写真に撮り、日誌として保護者に発信しました。また、職員の学びの機会として、子どものステキだなと思った場面や成長を感じた場面などを毎月行われる乳児・幼児それぞれの部会の中でミニ学習として取り入れました。総括会議の際の実践報告でもドキュメンテーションを取り入れ、子どもを見る視点についても、職員間で学び合いました。

<保護者さんの姿>

- ▶ 忙しい毎日の中ですが、自分の休憩時間の中でその日の様子を見ることができるといいです。また、自分の子だけでなくクラスの子の成長も分かるし、先生たちの関わり方もわってきます。

<職員の変化>

- ▶ 可視化することで若い職員にも理解しやすく、自分の保育を客観視できるようになる姿が見られました。また、それぞれの職員の視点についても気づくことができ、自分の保育の学びにも繋がっています。

子どもの様子

さくらんぼ組1月30日(金) 記入者

オオカミごっこ

園庭で遊びました。おおかみごっこが大好きなさくらんぼ組。外に出ると「オオカミごっこするものこのゆびとまれ♪」の歌で、一緒に遊びたい友だちが集まって来てオオカミごっこが始まりました。「おおかみさんこっちだよー」と楽しみながら逃げていました。



T「たすけにきました！」



二回目は「しーちゃんがおおかみやる！」としずくちゃんがおおかみになりました。「えいっ！」「まけないぞー！」とKくんやMちゃん、Tちゃんが戦っていましたよ。

S「おおかみだぞー！」



N「どろになっちゃたの！」
M「のがやってあげるよ」



Nちゃんが走っていると転んで靴が脱げ、汚れてしまい泣いていました。すると、一緒に遊んでいたMちゃんが「だいじょうぶ？」「ままにおせんたくしてもらおう」と声を掛けて、靴を手伝っていました。友だちの力も借りてもう一度楽しく遊べました！

まとめ

- ▶ **園行事**や**地域交流**など保育園が大事にしていることを保護者と共に一緒に体験することができた年でした。大人も子どもも人間は人と人のかかわりの中で育ちます。毎日友だちと一緒に過ごし、泣いたり、笑ったり、力を合わせたりすることを通して心が成長します。保護者同士も行事等や送迎の際、お互いの悩みや子どもの姿を通して話す機会が増え、共感し合う姿がよく見られるようになりました。
- ▶ **自然豊かな環境**の中で駆け回り、**田畑の栽培**や**クッキング**で安心安全なものを食べ、丈夫な体が作られます。平石ならではの環境の中で、子どもたちの丈夫な体作りをすること、食事は大事であることを毎日の保育の中で発信してきました。
- ▶ **ドキュメンテーション**の取り組みでは、より深く子ども理解ができるように職員の学ぶ機会を増やしました。子どもを見る視点や自分の保育を客観視する、日常の保育の中で素敵な場面を職員同士で共有する姿も見られるようになり、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、保護者にも配信し、保育で大切にしていることや我が子だけでない子どもの育ちを知る機会にすることができました。興味・関心を広げていけるよう、子どもも大人もワクワクするような実体験を大事にしていきたいです。
- ▶ これからも、この平石の環境を活かし、子どもも大人もワクワク、ドキドキする保育を大切にしていきたいです。

